

2022年10月にエッジが法人として活動を開始して丸20年となります。10月までに今後の当法人の中長期的な方向性を決めていきたいと思ひます。

また、発達障害の中でも一番対応が遅れている、ディスレクシアへの対応を国に対して制度化を求めていく所存です。

認定NPOになって5年目の年となり、更新の手続きがあります。

2022年単年度では下記を考えています

- 設立20周年記念事業として「味方を増やす」をコンセプトに
- 記念イベントとしてディスレクシアの人たちによるリレートーク、その記録をアーカイブ化する
- 記念誌編纂

人材育成事業の拡充

- LSA養成講座入門コースを全面的にリニューアルして、内容のアップデートと本コースへ興味を持ってもらうようにする。
- これまでFISDOMの展開してきた「子どもの味方の教え方」の講座名を「MOOC」から「読み書き困難指導・支援講座」へ変更する。一章増やしてより具体的な指導と支援につながるようにする。
- 相談・アセスメントができる人材育成をオンラインで受けられるようにする。テキストを編纂して販売する。（日本財団助成事業が通ったら）
- 各講座を終了した人たちのコミュニティーを作り、参加を促し、エッジに長期にわたって繋がってもらう。

作業の効率化

各事業はより効率化を図り、広報、集客に力を入れる準備が整ってきた。

- ほとんどすべての講座やサービスでPEATIXでの集客、申し込み受け付け、支払、各種確認、資料配布などが一元化してできるようになる。
- 移行できる作業はデジタル化していく、効率の良いサービスの在り方を模索する。メルマガ配信やホームページ更新など。
- 内部の情報や資料のやり取りはクラウド上CybozeとKintoneを使用している。

啓発

- ディスレクシアセミナー
催す ※隔月で基礎編とアドバンス編で開
- 20周年イベント タイムリーにエッジのサービスを案内する
※リレートークなど
※記念誌編纂

広報

- ホームページ ※更新を内部でできるようにする
- ニュースレター ※制作を内部で実施
- メルマガ ※配信方法を一元化、リストの整理
- フェースブック 3000名弱 フォロワー ※広告が有効
- PEATIX ※集客・集金をシステム化

支援

- 保護者・当事者支援
 - DX会 ※活性化を図る、政策提言など
 - DX会キッズ&ティーンズ ※ワークショップなど検討
 - BEAM(文部科学省委託事業)教科書の音声化 ※高校の教科書、民間への売り込み
 - 相談・アセスメント ※日本財団助成申請中、スタンダード版拡充
- 人材育成
 - LSA(学習支援員)養成講座
 - 1) 入門コース ※全面リニューアル、テキスト作成 年2回(4-6)
 - 2) 本コース★ ※オンライン化、ビデオ作製内部で
 - 読み書き困難指導・支援講座 ※MOOCから名称を変更
 - 1) 「子どもの味方の教え方」★ ※エッジで運営 年4回(1-3、4-6、8-10、12-1)
 - 2) ロンドン大学講座 英語の読み書き困難への支援 ★
 - アセッサー養成講座 ★ ※日本財団助成申請中、オンラインの予定

※は2022年度の変更点

★はテキストあり